



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社東京衡機 上場取引所 東
 コード番号 7719 URL <http://www.tksnet.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 洋
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石見 紀生 (TEL) 03-5207-6760
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	4,110	34.4	184	10.3	179	32.7	157	77.6
2020年2月期第2四半期	3,057	25.6	167	49.5	135	38.7	88	△71.5

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 157百万円(72.7%) 2020年2月期第2四半期 91百万円(△70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	22.10	—
2020年2月期第2四半期	12.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	4,248	1,896	44.6
2020年2月期	4,318	1,740	40.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 1,896百万円 2020年2月期 1,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	11.6	420	0.3	380	1.2	310	2.0	43.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	7,133,791株	2020年2月期	7,133,791株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	2,899株	2020年2月期	2,849株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	7,130,912株	2020年2月期2Q	7,130,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）におけるわが国経済は、昨年末から中国湖北省武漢市を中心に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症が短期間で全世界に広がり、経済活動や社会生活全般に甚大な影響を及ぼすに至り、海外への渡航規制、国内における緊急事態宣言の発出、外出自粛・休業要請等により、企業活動や個人消費が著しく制限され、景気は急速に悪化し中々収束の兆しが見えず、先行き不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、直近2期連続黒字の達成を受け、持続的な成長と安定的な収益の確保により企業価値の向上を図るべく、すべての事業において業績の向上・改善に取り組みました。

試験機事業では、各種材料の評価試験、動力・性能試験、環境試験等の各分野における業界トップレベルの試験機の品揃えと、自動車、鉄鋼、鉄道、産業機器等のメーカーや各種研究機関、学校など幅広いユーザーを有し、製品・商品の販売およびメンテナンス・校正等のサービスの提供を行いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が産業界全体に影響を及ぼすこととなり、先行きについては予断を許さない状況となりました。

商事事業では、一般消費者向けの生活関連商品のうち量販店向けの販売は大幅に落ち込みましたが、海外向けの商品の販売は堅調な伸びとなりました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司においてオフィス家具部品や家電部品、生活用品部品等のプラスチック成型品の製造・販売を行い、早期の黒字化に向けコストの削減を継続するとともに、新たな取引先を確保すべく、主に日本の企業向けに営業活動を行いました。

その他事業のうちエンジニアリング事業では、従前より特許を有するゆるみ止め製品（ナット・スプリング）のインフラマーケットへの浸透・市場シェア拡大に努め、販売は比較的堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,110,768千円（前年同期比34.4%増）、経常利益179,284千円（前年同期比32.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は157,594千円（前年同期比77.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①試験機事業

試験機事業では、製品の高性能化・高機能化等のブラッシュアップや生産工程・パーツの標準化の推進による原価低減等を継続して収益基盤の強化を図りました。売上高については、第1四半期連結会計期間は既受注案件が多く新型コロナウイルス感染拡大の影響は少なかったものの、第2四半期連結会計期間は、受注活動の制限や据付、修理等の現地工事に対する制約などを主因に厳しい状況となり、当第2四半期累計期間では前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、試験機事業の売上高は1,572,815千円（前年同期比5.9%減）、営業利益は266,365千円（前年同期比8.5%増）となりました。

②商事事業

商事事業では、一般消費者向けの生活関連商品のうち、従来からの量販店向け商品の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により訪日観光客が激減したことで、大幅に減少したものの、前連結会計年度から開始した海外向けの商品の販売については、堅調な伸びとなったことから売上高・利益ともに前年同期を上回ることができました。

以上の結果、商事事業の売上高は2,082,377千円（前年同期比198.2%増）、営業利益は25,629千円（前年同期比63.2%増）となりました。

③海外事業

海外事業では、新型コロナウイルスへの感染拡大防止のため、中国子会社で半月程度の工場操業停止による生産高の減少があり、売上高の落ち込みの要因となりました。工場の操業再開後は、中国国内の企業や日本企業向けの家電部品や生活用品部品等のプラスチック成型品の製造・販売は比較的順調に推移しているものの、欧米の企業向けのオフィス家具部品については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により客先の生産体制に遅れが生じたことを受け、大幅に製造・販売が減少する事態となりました。損益につきましては、売上高の減少に対応すべく、人員の適正化や購買管理の強化など引き続きコストの削減に努めました。

以上の結果、海外事業の売上高は244,860千円（前年同期比50.3%減）、営業損失は53,346千円（前年同期は36,078千円の営業損失）となりました。

④ その他事業

その他事業のうちエンジニアリング事業では、ゆるみ止めナット・スプリングについては、高速道路や橋梁、エネルギー関係等の社会インフラ向けや国内建設市場向けに製品の浸透と市場シェアの拡大に努めた結果、インフラ向けの製品を中心に販売が比較的堅調に推移いたしました。

以上の結果、その他事業の売上高は210,963千円（前年同期比18.0%減）、営業利益は64,690千円（前年同期比30.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,248,741千円となり、前連結会計年度末に比べ70,109千円減少いたしました。

流動資産は3,017,579千円となり、前連結会計年度末に比べ41,142千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の増加241,263千円、受取手形及び売掛金の減少143,450千円、電子記録債権の減少41,387千円、仕掛品の減少63,429千円によるものであります。

固定資産は1,231,162千円となり、前連結会計年度末に比べ28,967千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の減少11,713千円、繰延税金資産の減少16,626千円によるものであります。

流動負債は1,449,845千円となり、前連結会計年度末に比べ76,200千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少218,769千円、短期借入金の増加245,650千円、未払金の減少63,947千円によるものであります。

固定負債は901,934千円となり、前連結会計年度末に比べ150,491千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少146,512千円、リース債務の減少8,991千円によるものであります。

純資産は1,896,961千円となり、前連結会計年度末に比べ156,582千円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加156,459千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ229,263千円増加し、1,135,661千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローの増加は182,938千円（前年同期は152,267千円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益211,077千円、売上債権の減少155,090千円、仕入債務の減少△216,891千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローの減少は34,761千円（前年同期は7,621千円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△16,073千円、定期預金等の預入による支出△16,250千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローの増加は81,964千円（前年同期は18,117千円の増加）となりました。これは主に短期借入れによる収入2,201,980千円、短期借入金の返済による支出△1,954,980千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年4月14日付公表の「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	951,398	1,192,661
受取手形及び売掛金	1,213,334	1,069,883
電子記録債権	93,166	51,779
商品及び製品	177,513	153,503
仕掛品	511,842	448,412
原材料及び貯蔵品	140,279	128,659
その他	81,369	86,770
貸倒引当金	△110,183	△114,091
流動資産合計	3,058,721	3,017,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	164,572	152,859
機械装置及び運搬具（純額）	57,984	59,794
工具、器具及び備品（純額）	63,136	60,299
土地	802,422	802,422
建設仮勘定	1,950	-
有形固定資産合計	1,090,066	1,075,376
無形固定資産		
ソフトウェア	17,943	17,031
その他	1,426	1,226
無形固定資産合計	19,369	18,257
投資その他の資産		
投資有価証券	12,377	12,372
保険積立金	15,953	15,953
繰延税金資産	112,687	96,060
破産更生債権等	183,946	182,287
長期性預金	-	4,250
その他	16,785	16,003
貸倒引当金	△191,057	△189,398
投資その他の資産合計	150,693	137,528
固定資産合計	1,260,130	1,231,162
資産合計	4,318,851	4,248,741

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	676,252	457,482
短期借入金	198,540	444,190
1年内返済予定の長期借入金	279,775	271,224
リース債務	18,952	17,983
未払法人税等	28,738	50,784
未払消費税等	41,935	40,150
未払金	107,685	43,737
未払費用	68,945	50,742
賞与引当金	46,575	43,941
その他	58,647	29,608
流動負債合計	1,526,046	1,449,845
固定負債		
長期借入金	485,088	338,576
リース債務	48,453	39,461
再評価に係る繰延税金負債	152,880	152,880
繰延税金負債	4,924	-
退職給付に係る負債	349,752	363,096
訴訟損失引当金	1,033	-
資産除去債務	4,090	4,104
その他	6,205	3,815
固定負債合計	1,052,426	901,934
負債合計	2,578,472	2,351,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,713,552	2,713,552
資本剰余金	200,233	200,233
利益剰余金	△1,541,105	△1,384,645
自己株式	△3,807	△3,818
株主資本合計	1,368,872	1,525,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	22
土地再評価差額金	346,323	346,323
為替換算調整勘定	25,155	25,293
その他の包括利益累計額合計	371,506	371,640
純資産合計	1,740,378	1,896,961
負債純資産合計	4,318,851	4,248,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	3,057,863	4,110,768
売上原価	2,352,145	3,458,206
売上総利益	705,717	652,562
販売費及び一般管理費	538,215	467,779
営業利益	167,502	184,782
営業外収益		
受取利息及び配当金	417	442
雑収入	9,516	8,809
営業外収益合計	9,933	9,252
営業外費用		
支払利息	10,621	9,556
手形譲渡損	1,465	1,581
為替差損	5,319	921
その他	24,894	2,690
営業外費用合計	42,300	14,750
経常利益	135,135	179,284
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	17,274	1,033
債務勘定整理益	-	30,760
特別利益合計	17,274	31,793
税金等調整前四半期純利益	152,410	211,077
法人税、住民税及び事業税	46,991	41,776
法人税等調整額	16,674	11,706
法人税等合計	63,666	53,482
四半期純利益	88,744	157,594
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,744	157,594

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益	88,744	157,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△3
為替換算調整勘定	2,630	138
その他の包括利益合計	2,609	134
四半期包括利益	91,353	157,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,353	157,729

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	152,410	211,077
減価償却費	23,824	25,139
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,534	△2,634
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,380	△2,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,773	6,923
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△30,876	△1,033
受取利息及び受取配当金	△417	△442
支払利息	12,086	9,556
為替差損益 (△は益)	5,319	921
債務勘定整理益	-	△30,760
売上債権の増減額 (△は増加)	203,704	155,090
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,020	96,384
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,387	△216,891
未払又は未収消費税等の増減額	△59,180	△1,784
その他	93,799	△21,274
小計	293,644	228,017
利息及び配当金の受取額	417	442
利息の支払額	△8,446	△10,746
法人税等の支払額	△134,136	△36,305
法人税等の還付額	788	1,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,267	182,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△3,000	△16,250
有形固定資産の取得による支出	△3,220	△16,073
無形固定資産の取得による支出	△1,400	△1,250
その他	-	△1,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,621	△34,761
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	582,016	2,201,980
短期借入金の返済による支出	△774,000	△1,954,980
長期借入れによる収入	370,000	-
長期借入金の返済による支出	△154,140	△155,063
リース債務の返済による支出	△5,767	△9,960
自己株式の取得による支出	△0	△11
その他	10	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,117	81,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	△920	△878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	161,844	229,263
現金及び現金同等物の期首残高	618,028	906,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	779,872	1,135,661

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本国内のみならず海外においても経済や企業活動に影響を与え、今後の完全な収束時期を予想することは困難な状況にあります。当社グループの業績に与える影響につきましては、2021年2月期中には、一時的な影響はあるものの徐々に持ち直すと仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点での入手可能な情報によるものでありますが、今後の状況の推移により、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	試験機事業	商事事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,671,767	698,430	430,550	2,800,748	257,114	3,057,863	—	3,057,863
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	61,911	61,911	64	61,975	△61,975	—
計	1,671,767	698,430	492,461	2,862,659	257,178	3,119,838	△61,975	3,057,863
セグメント利益 又は損失 (△)	245,469	15,702	△36,078	225,093	93,316	318,409	△150,906	167,502

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業（締結具事業）、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△150,906千円は、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	試験機事業	商事事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,572,567	2,082,377	244,860	3,899,805	210,963	4,110,768	—	4,110,768
(2) セグメント間 の内部売上高	248	—	—	248	—	248	△248	—
計	1,572,815	2,082,377	244,860	3,900,053	210,963	4,111,016	△248	4,110,768
セグメント利益 又は損失 (△)	266,365	25,629	△53,346	238,649	64,690	303,340	△118,557	184,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業（締結具事業）、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△118,557千円は、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「エンジニアリング事業」の中に含めていた商事事業の売上高の重要性が増したため、独立の報告セグメントとして記載し、「商事事業」を除いた「エンジニアリング事業（締結具事業）」につきましては、売上高の割合が減少したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。